

令和4年度指導計画 (社会)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	社会(公民分野)	総時数	140時間	学年(コース)	2学年
使用教科書	帝国書院『中学生の歴史〈日本の歩みと世界の動き〉』				
副教材等	正進社『歴史の資料』 文理『中学必修テキスト社会 歴史』				

1 学習目標

歴史的事象に対する関心・理解を深める。
日本の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解させ、それを通して日本の文化と伝統の特色を考えさせる。

2 指導の重点

国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物や現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させる。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	歴史のとらえ方と調べ方 古代国家の成立と東アジア	歴史の流れと時代区分 人類の登場から文明の発生へ 東アジアの中の倭 中国にならった国家づくり	・中学校で歴史を学ぶ動機づけ、意味づけを行い、学習意欲を高める。 ・関心のある主題について、調べる計画を立てて調査し、まとめて発表する。 ・自分たちの祖先が、いつごろ現れ、どのような生活を送っていたのかを理解する。 ・日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに	12	評価シート 提出物
5	古代国家の成立と東アジア 武家政権の成長と東アジア	展開する天皇・貴族の政治 武士の世の始まり 武家政権の内と外	・日本の古代国家の仕組みや農民の生活を理解するとともに、その変容について考える。 ・武士の世となり、日本社会がどのように変容したかを理解する。	30	評価シート 定期考査 提出物
6					
7	武家政権の成長と東アジア 武家政権の展開と世界の動き	人々の結びつきが強まる社会 大航海によって結びつく世界 戦乱から全国統一へ 武士による全国支配の完成	・町や村で自治的なしくみが生まれ、人々の生活がどのように変わっていったのかを考える。 ・戦国大名による全国統一事業が行われるなかで、日本社会がどのような変化をとげたかを理解する。	36	評価シート 定期考査 提出物
8					
9					
10		天下泰平の世の中 社会の変化と幕府の対策	・江戸幕府の成立によって、安定した社会が生まれ、産業や交通が各地で発達した過程を理解する	36	評価シート 定期考査 提出物
11	近代国家の歩みと国際社会	欧米諸国における「近代化」 開国と幕府の終わり	・産業革命を背景とした欧米諸国のアジア進出のなかで、日本もその影響を強く		

12	二度の世界大戦と日本	明治政府による「近代化」の始まり 近代国家への歩み 帝国主義と日本 アジアの強国の光と影 第1次世界大戦と民族独立の動き	受けるようになった事実を考える。 ・明治維新後、急速に近代化を進め、外国への進出をはかるようになっていったことを理解する。 ・二つの世界大戦の背景には、どのような政治や経済の動きがあったのかを理解する。		
1	現在に続く日本と世界	高まるデモクラシーの意識	・二つの世界大戦から、日本が何を学んだのかを考える。 ・新しい日本を作るために、どのような改革が行われたのかを理解する	20	評価シート 定期考査 提出物
2		戦争に向かう世論 第二次世界大戦の惨禍 敗戦から立ち直る日本 世界の多極化と日本の成長			
3		これからの日本と世界	・冷戦終結後、日本と世界はどのように変化したのかを理解する。	6	評価シート 小テスト 提出物

計 140 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

- (1) 与えられた課題・提出物は期限までに必ず提出しましょう。
(2) 長期休業中の課題・提出物は別途指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。		
(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について、国際協調の精神を基に、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとしている。
以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 などから、総合的に評価します。		

6 担当者からの一言

定期考査の結果だけでなく、授業の参加の様子や課題への取り組み方などを総合的に見て評価します。望ましい学習態度をきちんと身に付けられるように努力しましょう。歴史の学習は、歴史の「流れ」をつかむことが大切だといわれています。教科書やノートをよく読み、原因・経過・結果などを理解するよう心がけましょう。また、問題集は繰り返し解くことで、知識の定着を図ることができます。
(担当：佐藤優之)